



10項目の「～たい」を目指して

園長 間嶋 哲

「幼稚園修了までに、どんな子どもに育ててほしいですか？」

こう聞かれて即答できる人は、案外少ないと思います。当園の先生方や外部の人に、この話題を持ち出すと、様々な反応があります。その中で、私になるほどなあと考えた応えの一つが「遊びを自分で考えて、実行できる子ども」でした。広い意味での「遊び」は、すべての原動力です。また、与えられた遊びではなく、自分の頭で考えた遊びは、より楽しくなります。さらに、実際にその遊びに浸りきる行動力（集中力）のようなものが大切であることは、疑いようがないことなのです。当園の教育目標は、「なかよく、せいっぱい遊ぶ子ども」です。

ところで、今年度から施行された幼稚園教育要領には、「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿」が10項目、示されています。後日配付する今年度の教育ビジョンには、昨年のものを整理したうえで、その10項目の観点ごとに、「～たい」という子ども側の表現で、次のようにまとめました。

<健康な心と体>	もっと遊び <u>たい</u> !
<自立心>	自分でやり <u>たい</u> !
<協同性>	みんなでやり <u>たい</u> !
<道徳性>	気持ちを知り <u>たい</u> ! きまりを守り <u>たい</u> !
<社会生活との関わり>	まわりの人も大事に <u>したい</u> !
<思考力の芽生え>	もっと考え <u>たい</u> !
<自然との関わり 生命尊重>	自然を大切に <u>したい</u> !
<数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚>	もっと知り <u>たい</u> !
<言葉による伝え合い>	もっと伝え <u>たい</u> !
<豊かな感性と表現>	もっと感じ <u>たい</u> !

自ら発する「～たい」をたくさんもっている子どもに育つよう、全教職員で保育に当たります。あゆみ会総会でもお話ししたとおり、今年度から配付予定の『成長の記録(仮)』を、どうぞ楽しみにしててください。

